

令和2年度 文京区立金富小学校 授業改善推進プラン

音 楽

学年	指導上の成果と課題の分析	授業改善の具体的な方策
1年	<ul style="list-style-type: none"> 授業の見通しや目標を、教師と児童が互いに認識し合うことが、より一層必要である。配慮が必要な児童に対し、十分な声掛けや、個に合わせた指導、提示の工夫が足りていなかった。 <p style="text-align: right;">【学びに向かう力】</p>	<ul style="list-style-type: none"> 具体的に目標を提示し、そこに向かって児童が意欲的に取り組めるよう、指導を展開する。児童の実態を把握し、楽しく取り組みやすい課題設定と提示の工夫をする。
2年	<ul style="list-style-type: none"> 曲に合わせて体を動かす力が向上している。今後は児童自ら動きを考え、表現する力を伸ばしていく。 <p style="text-align: right;">【思考・判断・表現】</p>	<ul style="list-style-type: none"> 児童の自然な発想を生かすため、発問の仕方を工夫し、互いの表現を楽しむ学びにつなげていく。
3年	<ul style="list-style-type: none"> 毎時間のめあてをもとに、7割以上の児童が楽しみながら表現活動に取り組んでいる。しかし、気持ちの切り替えがうまくいかず、活動に参加するまでに時間がかかってしまう児童もいる。 <p style="text-align: right;">【学びに向かう力】</p>	<ul style="list-style-type: none"> 学習態度が定着している児童を称賛し、そのよさを学級に広めていくことで、学習規律の徹底を図る。また、授業の見通しがもてるように活動の流れを示したり、教材の提示方法を工夫したりすることで、児童の意欲を引き出していく。
4年	<ul style="list-style-type: none"> 学習に対して意欲的であり、楽しみながら前向きな気持ちで取り組んでいる児童が多い。しかし、新しい楽曲や楽器に取り組むことに不安感が強い児童もいる。 <p style="text-align: right;">【学びに向かう力】</p>	<ul style="list-style-type: none"> 授業の中で「分かった」「できた」と児童が実感できるように、目的に沿った分かりやすい授業づくりをしていく。また、不安感が強い児童には、次授業の内容について事前に連絡し見通しをもたせたり、スモールステップで授業を進めたりすることで、安心して取り組めるようにする。
5年	<ul style="list-style-type: none"> 答えを気にして、楽曲を聴いて感じ取ったことを自分の言葉で表したり、自分がどのように表現したいかについて考えをもったりすることが苦手な児童が多い。 <p style="text-align: right;">【思考・判断・表現】</p>	<ul style="list-style-type: none"> 音楽の幅広さを伝え、自信をもって表現できるように指導していく。そのために、児童自身の経験を関連付けて想像したり、ICT機器を活用し楽曲に関連した絵や写真を提示したりすることで、一人一人の音楽の幅を伸長し、豊かな表現力を育成していく。
6年	<ul style="list-style-type: none"> 楽曲を聴いて情景を想像したり、どのように歌うかについて自分の思いをもち考えを言葉で表現したりすることが苦手な児童が多い。 <p style="text-align: right;">【思考・判断・表現】</p>	<ul style="list-style-type: none"> 児童自身の経験や身近な場面から関連付けて想像し、言葉で表現できるようにする。そのために ICT 機器を活用し楽曲に関連した絵や写真を提示したり、比較鑑賞をしたりすることで、一人一人の音楽の幅を伸長し、豊かな表現力を育成していく。また、鑑賞後にそれぞれの意見を学級全体で共有したり、意見を交流したりする活動を行う。